



耐高水圧アンカー

高い水圧下でも安心・安全なケミカルグラウトのグラウンドアンカーの施工

高い水圧下において通常のアンカー施工を行うと多量の土砂が噴出し、地盤の陥没や、アンカーの引抜け等の事象が発生する恐れがあります。

ケミカルグラウトの耐高水圧アンカー施工法は、シンプルな止水装置と施工手順により安心な施工を行います。その安全性から重要構造物近接での施工実績も多数ある工法です。

高い水圧下での施工

▼何も対策を施さない場合 (土留壁からの地下水噴出)



土砂流出による地盤陥没の例

▼耐高水圧仕様での施工

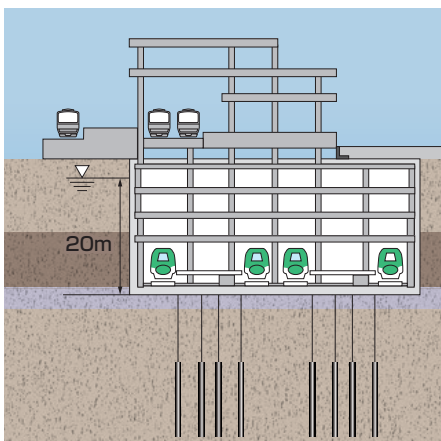


特長

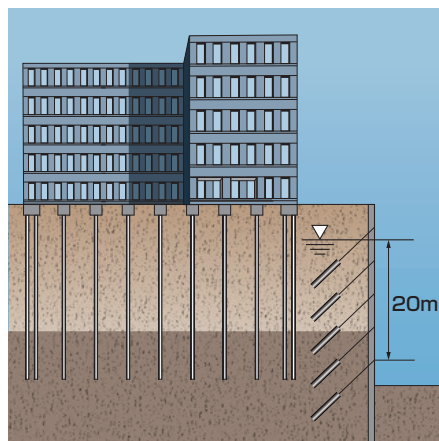
- ① 止水装置、ケーシングパッカーがシンプルな構造で安心な施工が可能。
- ② アンカー設置位置が0.2MPaの水圧下においても安心な施工が可能。
- ③ 高強度かつ密閉性に優れたビットで削孔するため礫層でも施工が可能。

適用例

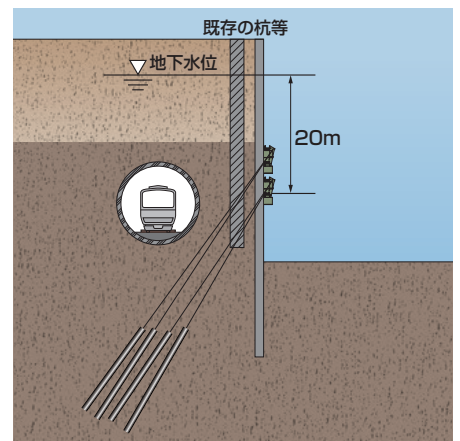
地下駅の浮き上がり防止



重要構造物近傍



営業線近傍



施工ステップ


- 1 口元プレート取付け
- 2 止水ボックス取付け
- 3 先端ケーシングとエアーパッカーの取付
- 4 削孔
- 5 一次注入
- 6 テンドン挿入・ケーシングパッカー挿入
- 7 閉塞型ビット取外し
- 8 ケーシング引抜き・加圧注入
- 9 ケーシングパッカー移動
- 10 ケーシング切り離し
- 11 口元止水

主作業の説明


1 2 3 各止水装置取付

止水ボックスに取付けた排水用のバルブの開閉を調整しながら削孔します。


エアーパッカー
ケーシングと密着します。



口元プレート
土留め壁に止水ボックスを連結させる装置です。



止水ボックス
地下水を調整しながら排水します。

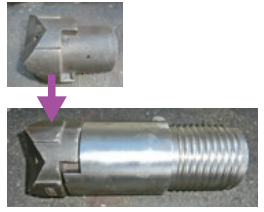


削孔排水

7 閉塞型ビット取外し

ケーシングパッカーでケーシングに蓋をした状態で閉塞型ビットを取り外します。


閉塞型ビット



9 ケーシングパッカー移動

ケーシングを外れる位置まで引抜き、ケーシングパッカーを奥側のケーシング内に移動させます。

ケーシングパッカー
ケーシング内に土砂の流入を防ぎ、中に設置された逆止弁により注入ができます。



11 口元止水

止水材注入口
先端ケーシング

止水材

先端ケーシングが止水ボックスの中に位置した時に止水ボックスの注入口より止水注入を行って孔口部の穴を塞ぎます。
⇒施工完了



ケミカルグラウト株式会社
CHEMICAL GROUTING CO.,LTD.

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館
TEL.03-5575-0511 FAX.03-5575-0573
西日本支社 〒540-0001 大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル
TEL.06-6946-7481 FAX.06-6946-7482

東北支店 TEL.022-227-5515
名古屋支店 TEL.052-951-7813
関西支店 TEL.06-6946-7481
九州支店 TEL.092-282-6618
台湾支店 TEL.+886-2-2518-0812

札幌営業所 TEL.011-252-6025
北陸営業所 TEL.025-240-8177
広島営業所 TEL.082-553-7975
四国営業所 TEL.087-839-3060

<https://www.chemicalgrout.co.jp/>